

ソリューションシステム

医療経営人材養成において活躍

遠隔講義システム ZaikenSystem

静岡県立大学(静岡市駿河区)経営情報学部教授・同地域経営研究センター長の、西田在賢先生は、医療経営人材養成のため、日々活動されています。その一環として、SBS情報システムと共同で、遠隔講義システム「ZaikenSystem」を作成しました。西田先生の活動内容とともに導入システムについてお話を伺いました。

一西田先生の現在の活動内容についてお聞かせ下さい

私は医療経営学を専門にしていますが、日本ではこれまで病院経営というものは、あまり真剣に考えられてきませんでした。医療は仁術なり、と言いますが医者になる過程で病院を経営していくためのノウハウを教わる場面がなかったのです。このままでは地域に必要な病院が経営破たんして潰れてしまう、そういった危機感の中で、私に医療経営を学びたいという人が増えてきました。しかし、私も身一つですから、大学の授業もある中でなかなか遠方へ頻繁に足を運ぶことができない、そうすると遠方から忙しい医療関係者にわざわざ来ていただくことになる、それは非常に非効率だと。そういう状況の中で私が求めたのが、遠隔地でも講義を視聴可能なシステムでした。

一独自にシステム作成をすることになったのは、どのような理由でしょうか

既に市場にある既存の遠隔講義システムなどにはいくつかの問題がありました。

ひとつは、高価であること。数百万円もする機器を、1台だけでなく各病院などの拠点に置かなければなりませんから、とても購入はできませんでした。また、安価なシステムでは、講義資料のアニメーションが送れないなど機能が不足していたり、継続して使うには使用料が発生したりと、採用するには難しいと判断しました。

そのような中、私のゼミの学生が「このようなシステムだったらどうでしょう」ということで、卒業研究として提案してくれたのです。この研究が3年前のことで、そこから継続してゼミ生の研究材料として引き継がれて実際にシステムを作成するところまで至ったのですが、セキュリティやマスタ管理の面で不足がありました。



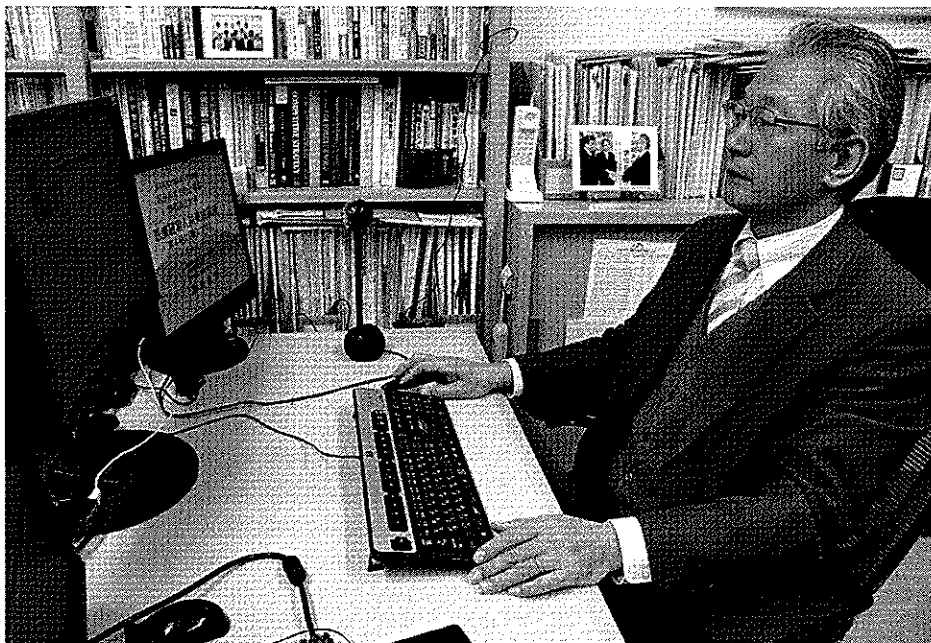
▲講義中の画面。左の画面に受講者と受講者の見る画面が映される。

そこで、SBS情報システムに講義管理システムの作成をお願いし、全体の完成にこぎ着けたわけです。

一実際の使用状況はいかがでしょうか

完成したZaikenSystemで学生に協力してもらって稼働試験を行いました。PCや回線などを個人のものを利用したため、人によって使用感にばらつきがあるようでした。環境に依存する点は今後の課題となりそうです。しかし、佐久間病院(浜松市天竜区)に協力していただいた試験では、ほぼ問題なく講義を行うことができたため安心しました。

ZaikenSystemは、パッケージ商品とするにはまだまだ研究が必要ですが、実用には十分耐えるものです。今後は遠隔地での一对一の指導、一对多の講義などにも活用していき、医療経営の考え方がより広がってほしいと思っています。



▲実際に講義システムのテストを行う西田在賢先生

問い合わせ先

ソリューション事業本部 / 池田 友里恵
 Tel.054-288-2581
 Fax.054-284-8926
 E-mail:y_ikeda@sbs-infosys.co.jp